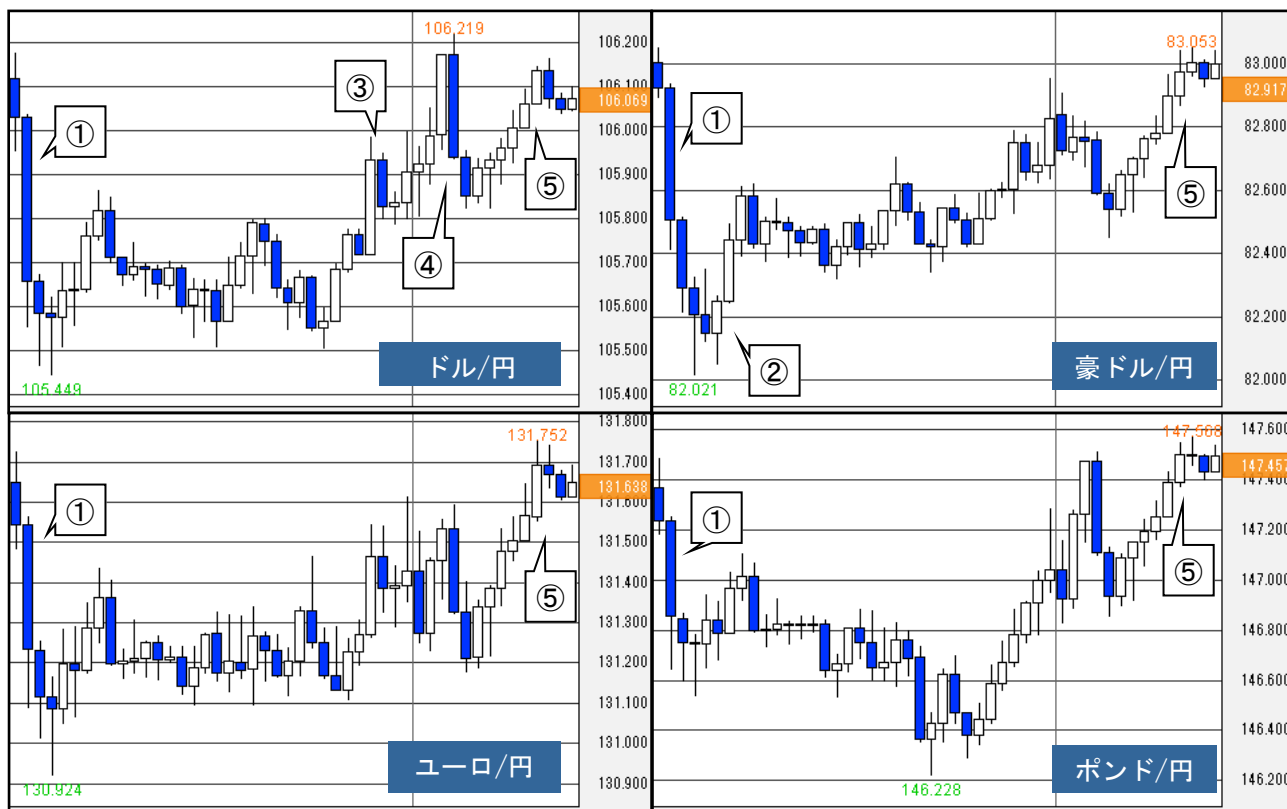


3月8日(木曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

市場に気迷いムードも

7日(水)の為替相場



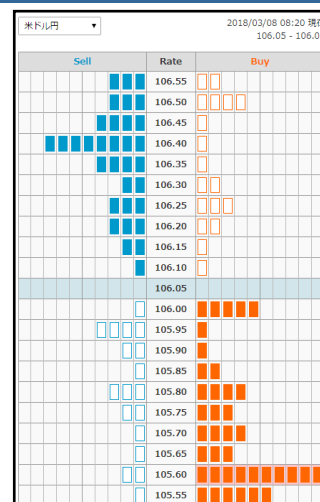
期間：7日(水)午前7時10分～8日(木)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① トランプ米大統領の鉄鋼・アルミ関税に反対していた米国家経済会議(NEC)のコーン委員長が辞任した事を受けて、米政権の保護主義への傾斜が加速するとの懸念が広がリドル売り・円買いが活発化。NEC委員長の辞任を受けて米国株先物が急落した事もあって、クロス円も全面安となった。
- ② 豪10-12月期国内総生産(GDP)は前期比+0.4%、前年比+2.4%といずれも予想(+0.5%、+2.5%)を僅かに下回った。
- ③ 米2月ADP全国雇用者数は23.5万人増と市場予想(20.0万人増)を上回った上に、前月分も24.4万人増に1万人上方修正された。これを受けて一時ドルが買われたが、米1月貿易収支が566.0億ドルの赤字(予想550.0億ドルの赤字)となり、赤字額が2008年10月以来の高水準となった事から伸び悩んだ。
- ④ ロス米商務長官が「トランプ政権は輸入関税に関して『対象を絞ったアプローチ』を検討している」と発言。なお、ホワイトハウスはその後会見を開き、鉄鋼とアルミニウムに対する輸入関税について、カナダとメキシコなどの国が適用を除外される可能性がある」と説明した。
- ⑤ 世界貿易戦争への過度な懸念が和らぐ中、一時300ドル超下落していたNYダウ平均が引けにかけて下げ幅を縮小すると、ドル/円やクロス円に上昇圧力がかかった。なお、米地区連銀経済報告(ページブック)では「全ての地区で物価が上昇、ほとんどの地区で緩やかなインフレ」「1月と2月はほとんどの職種、多くの地域で、労働者を補うのに苦労している」などとする見解が示された。

7日(水)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21252.72 ▼165.04	5901.988 ▼60.449	3271.668 ▼17.974	7157.84 △11.09	12245.36 △131.49
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24801.36 ▼82.76	0.0500% ▼0.0060	2.794% ▼0.028	1.494% ▼0.027	0.655% ▼0.020
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.2519% △0.0020	2.8827% ▼0.0036	61.15 ▼1.45	1327.60 ▼7.60	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	105.400-106.500	131.100-132.300	82.500-83.600	146.800-148.300

【ドル/円】

昨日のドル/円は、米政権に振り回されて上下する展開となった。トランプ米大統領の関税措置に反対していたコーン国家経済会議(NEC)委員長が辞任した事を受けて105円半ばまで下落。しかし、ロス商務長官が鉄鋼・アルミ関税について「対象を絞ったアプローチ」を検討する考えを示すと、全面的な貿易戦争への懸念が和らぎ106円台を回復した。なお、トランプ大統領は本日8日(日本時間29時30分)に、輸入関税を命じる文書に署名するための式典を開催する。

ドル/円の日足チャート上には2本続けて十字線が出現しており、市場に気迷いムードが漂い始めた事を示唆している。本日は注目の欧州中銀(ECB)理事会が行われるほか、明日には日銀金融政策決定会合や米2月雇用統計の発表が行われるなど重要イベントが続くとあって、ひとまず様子見の姿勢が強まりそうだ。こうした中、ドル/円は105円台では底堅い半面、106円台では上値が重い展開が見込まれる。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
3/8(木)	09:30	○	(豪) 1月貿易収支	-13.58億AUD	+1.60億AUD
	未定	○	(中国) 2月貿易収支	+203.5億USD	-57.0億USD
	16:00		(独) 1月製造業受注(前月比)	+3.8%	-1.8%
	21:30		(米) 2月チャレンジャー人員削減予定数(前年比)	-2.8%	--
	21:45	◎	(ユーロ圏) ECB金融政策発表	0.00%	0.00%
	22:30	◎	ドラギECB総裁、定例記者会見	--	--
	22:30	○	(米) 新規失業保険申請件数	21.0万件	22.0万件
3/9(金)	10:30		(中国) 2月消費者物価指数(前年比)	+1.5%	+2.5%
	10:30		(中国) 2月生産者物価指数(前年比)	+4.3%	+3.8%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。